



多摩・島しょ

history of tama & tōsho

とっておき歴史発見

第3回 立川市



身近な場所で歴史を発見！
今回はわたげのボクが『小林家住宅』と『須崎家内蔵』を紹介するよ。

小林家住宅



小林家は江戸時代に砂川九番組の組頭を務めた旧家だよ。
砂川地域には数少ない六間型（6部屋構成）で、「オク」の間の座敷飾りは、当時の武家住宅に匹敵するほどの高い格式をもっているんだって。

移築に先立つ解体調査で「嘉永五年」（1852年）と書かれた部材が発見され、建築年代が明らかとなったよ。

須崎家内蔵



※写真は3階建て構造がわかるよう裏手から撮影

写真の白くて立派な蔵は、江戸時代末期から明治時代初期頃に建てられたと推定される木造3階建ての土蔵だよ。
須崎家は江戸時代、砂川八番組で組頭を務めた旧家で、かつて質屋を営んでいたことから、この蔵は質蔵として使用されていたんだって。移築復元に伴い、外蔵に改修されたよ。



【現地案内】

◆ 川越道緑地古民家園（立川市幸町4-65）

電 車 ・多摩モノレール「砂川七番駅」下車、徒歩15分
・西武拝島線「玉川上水駅」下車、徒歩20分

バ ス ・JR立川駅北口よりバス利用の場合
9番のりば「幸町団地」行き（立川八小経由）
「古民家園東」下車、徒歩1分

駐車場 有（約6台）※大型車は進入できません。

【情報・写真提供】立川市歴史民俗資料館



本紙についてのご意見・ご要望は、ホームページの問合せフォームからお寄せください。

問合せフォーム▶



【発行日】2021年6月1日 【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会 【責任者】小暮 実
〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4F TEL 042-382-0068
ホームページ <https://www.tama-100.or.jp>（本紙のバックナンバーをご覧ください。）



再生紙を利用しています